

災害義援金の受付について

日本赤十字社福島県支部富岡分区では、災害で被災された方々の生活再建の一助として、下記のとおり、義援金を受付しておりますので皆様のご協力をお願ひいたします。

なお、皆様より寄せられた義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送られます。

平成26年 長野県神城断層地震災害義援金

①受付期間

平成26年12月5日(金)～平成27年3月31日(火)

②義援金受付方法

①銀行振込

金融機関名:東邦銀行南福島支店

口座番号:普通 612609

口座名義:日本赤十字社福島県支部

②郵便振替

口座番号:00110-9-264616

加入者名:日赤長野県神城断層地震災害義援金

※通信欄に「長野県神城断層地震災害義援金」と明記して下さい。

地区分区窓口

現金書留で郵送されるか、窓口に設置した募金箱に直接お願い致します。

〒963-8041

住所 福島県郡山市富田町字若宮前32 富岡町生活復興支援おだがいさまセンター内
富岡町社会福祉協議会事務局 TEL 024-935-3345

※東邦銀行窓口における同行間の送金手数料は無料です。

※ゆうちょ銀行・郵便局窓口で取扱の場合、振込手数料は免除されます。

※受領証の発行をご希望の場合は、通信欄に「受領証希望」とご記入下さい。

日赤公式
マスコットキャラクター



ハートちゃん

2月巡回訪問予定(借上げ住宅等)

借上げ住宅等に避難されている高齢の方を中心に巡回訪問を予定しています。

生活支援相談員が訪問した際は、お気軽にご相談下さい。

訪問先

上旬	県北・いわき地区
中旬	県中・いわき地区
下旬	県中・いわき地区

※仮設住宅は、随時訪問活動を実施しています。

※都合により変更になる場合がありますのでご了承下さい。

あなたも『笑～る』の記者になってみませんか

Mail odagaisama@gmail.com

郵送の場合は下記住所までお送りください。
ホームページ内のお問合せからも受け付けております。

編集後記

新年あけましておめでとうございます！2015年がスタートしました。お正月はおいしいおせち料理やお餅など食べましたか？

さて、2015年は未年ということで、情報紙「笑～る」も羊毛のように暖かい記事や情報をあなたの元へお届けします！どうぞ本年もよろしくお願いします！(*'▽')ノ(松本)

社会福祉法人 富岡町社会福祉協議会

場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅)
おだがいさまセンター内

TEL 024-935-3332 FAX 024-935-3334

ホームページ

<http://odagaisama.info/>

ツイッター

@odagaisama

ホームページ

ツイッター

@odagaisama

笑 ~ る

えみ
富岡町
社協だより

えみ
笑 ~ る

112号
 2015年1月9日発行
 発行
 社会福祉法人
 富岡町社会福祉協議会



年頭のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

平成27年の年頭にあたり謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中は富岡町社会福祉協議会に対し格別のご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、近年の社会福祉を取り巻く環境は、経済状況が厳しい中、本格的な少子高齢化や核家族化の進行により、新たな貧困問題や孤独死などの福祉課題が山積しており、避難生活での生活課題も複雑、多様化し、支援を必要としている人

のみならず、地域住民全体を対象とした暮らしの安定を図る支援が必要となっております。

このような状況の中、町民の皆様には東日本大震災及び原子力発電所事故より3年10ヶ月が経過した現在も県内外の応急仮設住宅や借上げ住宅等での慣れない生活を余儀なくされ、ふるさとにいつ帰れるか分からず不安な日々を強いられています。

このようなことをふまえ、当協議会では関係機関や各種団体などの多様な担い手と協働し、サロン活動による仲間づくりやコミュニティづくり、巡回訪問活動の充実など、町民の皆様にもっと寄り添いながら支援いたして参ります。

本年も町民の皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人富岡町社会福祉協議会 会長 宮本皓一



今年もよろしくお願いします！



陰山建設株式会社様より
門松を寄贈いただきました。



ありがとうございました。

味の素 男の料理教室

12月4日(木)おだがいさまセンターにて、借上げ住宅居住者対象の「男の料理教室」が開催されました。

- 焼き大根の香り混ぜご飯
- 冷凍チキンのさっぱりソース和え
- 斬新白菜ときいかのワカメ煮

味の素の「料理教室」「男の料理教室」どちらも大変好評で、次回も開催を予定しておりますのでお気軽にご参加ください！



園芸教室 門松作り

12月3日(水)いわき四倉交流サロンの園芸教室で、門松作りが行われました。竹を合わせ、こもを巻き、松の葉などの正月飾りをつけ、立派な門松が出来上がりました。

参加者の皆さん20名は「よい正月が迎えられる」と喜んでいました。



立派な門松が完成しました！

桜染め年賀状作り

12月3日(水)いわき泉玉露交流サロンにおいて、大島美奈子先生による「桜染め年賀状作り」が行われました。

前回は干支の「午」の年賀状でしたが、今回は2015年の干支の「未」を描いた年賀状を作りました。

羊の顔は、桜染めに使用する液を和紙に染み込ませ乾かしてから切り取り、年賀状に貼り付けました。周りにメッセージやシールを貼れば、オリジナルの年賀状の出来上がりです。その他にも、大島先生オリジナルの絵馬やしおりなども作成させていただきました。参加者の皆さんはとても楽しそうに取り組んでいらっしゃいました。

大島先生、ありがとうございました！



下高久仮設 餅つき

12月16日(火)いわき市下高久応急仮設で餅つきが行われました。富岡町の「ふるさと生産組合」の所有する田んぼで愛情豊かに育てられた餅米が使用されるとあって、参加された皆さんは、ふるさとの懐かしい味を満喫していました。

久しぶりの餅つきに、男性の皆さんには元気いっぱい杵を持ち上げ、餅つき特有の「スコン」という音が響き、女性の皆さんお得意の「コネ取り」には列ができるほどの人気でした。餅米を育てた生産組合の方々も、仮設の皆さんに喜ぶ顔や笑顔に満足そうでした。



んだしけライン

工房便り 愛“藍”溢れる展示会

郡山市のおだがいさま工房で12月13日(土)・14日(日)の両日、今年度2回目となる工房IWAKIとの合同作品展示会を開催しました。「大切な人に愛“藍”を贈ろう」をテーマに、雪の結晶のハンカチやクリスマスツリーのタペストリーなどクリスマスカラーで彩られた会場には、富岡町民をはじめ県内外から多くの方が足を運んで下さいました。一つ一つ丁寧に作り込まれた作品を際立てる照明と、美しい音色の幻想的な空間に来場者は魅了された様子でした。



富岡高校女子サッカー部 FM出演!

12月13日(土)富岡高校女子サッカー部15名が、顧問の松本克典先生と一緒に、おだがいさまセンターに来所しました。富高女子サッカー部は、10月24日～27日秋田県仁賀保グリーンフィールドで行われた東北地区大会で3位となり、全国大会の出場権を得ました。

平成27年1月3日(土)神戸市で行われる全国大会では、長崎県代表の鎮西学院高校と対戦することとなり、選手達は全国大会出場の報告と初戦突破を、センターに集まつた町民の皆さんに誓いました。

富田仮設自治会長の激励の言葉や町民の方の「万歳三唱」を受けて、笑顔満開の選手達でした。正午から放送の「とみおか76.9(セブンロック)」に出演した選手達、若さ溢れる声がセンター内に響き渡りました。



震災の語り人

「富岡町3・11を語る会」では、12月23日(火)おだがいさまセンターで、福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 副課長 渡邊日出夫氏を講師にお迎えし、第2回の「聞く」研修を行いました。渡邊日出夫氏は「東日本大震災」発生当時のビッグパレットふくしま館長で、2011年3月16日に富岡町や川内村からの避難者を受け入れてくださった方です。

講話では、受け入れ決断時の覚悟、そして避難所館長としての責任感など、何としても避難者全員を守るという強い気持ちが伝わってきました。

異なる立場からの話を「聞く」研修は、「富岡町3・11」の語りをより充実させるためにも、また自分達の視野を広げるためにも、貴重な機会となっています。

また、「富岡町3・11を語る会」では、町民語り人を随時募集しています。「私も語り人になってみようかな」と思う方は、おだがいさまセンターまでご連絡ください。



食べ過ぎに注意！

